

花と日光連山が見える山2 高原山(日光釈迦ヶ岳)

実施日 2013年6月3日(月)
 天候 晴れ
 リーダー 鈴木 政三
 参加者 涌井良明、鈴木政三、中村友子、伊藤久雄 計4名
 費用 3,100円/人(交通費相当負担)
 タイム 萩窪駅(6:00~6:10)鶏頂山西口登山口(8:50~9:05)弁天沼(10:20~10:30)鶏頂山(11:10~11:45)釈迦ヶ岳(12:50~13:15)弁天沼(14:30~14:35)西口登山口(15:30)

梅雨入りが早く山行両日共に天候不安定の予報、最悪の場合は温泉湯治客も覚悟したが、W氏からマイカー提供の提案があり、直前まで天気予報の確認ができる日帰り車山行(日光釈迦ヶ岳のみ)に変更した。山行日が近づくにつれ天気予報は持ち直し、3日(月)は晴れに変わった。

萩窪駅に集合し鶏頂山西口登山口に向かう。登山口は広い駐車スペースと道を挟んだ鳥居と狛犬像が目印。



登山道は鳥居をのび、新緑の中を登るとキー場の最上部に着く。

初めて奥日光連山が望める、天気の良いのでこの先が楽しみ。

鬱蒼と茂ったヒノキ林の中を歩くようになる。重たい雪が積もるのかヒノキの根元が天狗の腰掛のように湾曲している木が多い。

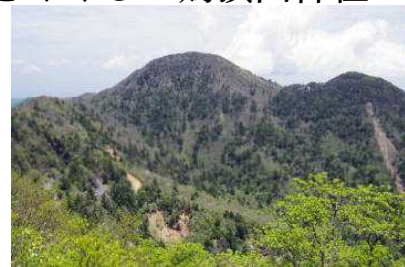


大沼分岐の石柱を過ぎると突然前が開け弁天沼に出る。祠が祀られ石碑が並んでいる。花を期待したが全く見られない、食害のせいかもしれない。ツツジの木も枯れている。

復路に通る釈迦ヶ岳への道を左に分け、古びた小鳥居をくぐり鶏頂山に向かう。信仰の石碑が点在する道、だんだんと険しくなり尾根上の分岐に出る。左が釈迦ヶ岳への道、右が鶏頂山。

ここからは痩せ尾根の急登、いたる所にロープが張られている。

登り詰め鳥居をくぐると鶏頂山神社が祀られた山頂だ。奥日光連山方面の遠望とこりかから目指す釈迦ヶ岳が見える。来た道に戻り



分岐から尾根上を釈迦ヶ岳に向かう。途中弁天沼からの道に合流する鞍部を通過し小ピークの岳山を越える。

次の鞍部からの登りは荒れた道の急登、鶏頂山の登りよりきつい。木や根、岩に掴まりながら登る。剣が峰コースからの道と合流し釈迦ヶ岳山頂に出る。高原神社小像と釈迦如来像が祀られた一等三角点で360度の眺望、鶏頂山越しの奥日光



連山方面の眺めは最高だ。眼下には那須塩原方面が見渡される。眺望を十分楽しんで下山、往路を戻り尾根上の弁天沼分岐から

直接弁天沼に下る。少し荒れているが新緑の中の歩き。弁天沼の直前にワラビの草原を見つけ、しばしワラビ取りに夢中、旬の収穫多し。

弁天沼からは往路の戻り、途中大沼に立ち寄り、寄る。大沼には全面干上がっており、且つ背後にあたり、鶏頂山聳えて、あたたかも日本庭園の枯山水のようだ、景色を堪能し登山口に戻る。



花は期待外れだったが頂上からの眺望には満足した静かな山歩きでした。

(記・鈴木 政三)

(写真提供・涌井良明/伊藤久雄)